

第7回新鋭俳句賞

正賞

けむり

若杉 朋哉

けむり

1 風来ては走るくぼみや春の水  
2 早春の入江の蟹は小さくて  
3 春焚火煙少なくなりて消ゆ  
4 雛あられ揺すれば色の出て来たる  
5 埃立つところ上がる蝶々かな  
6 こぼれたるちりめんじやこや目のそぞろ  
7 しやぼん玉空を弾んでゆくところ  
8 砂にまみれし防風の摘み残し  
9 万緑の中の日ざしの生きてをり  
10 竹落葉回りながらにして迅し  
11 日当れる枇杷の袋は新聞紙  
12 強さうに日焼してゐる子供かな  
13 打水に上がる埃は少しきり  
14 一つ来て二つとなりぬ蠅親し  
15 網戸から向ふの網戸見えてをり  
16 テキサスの土産といふは夏帽子  
17 野次る口西瓜の種を飛ばす口  
18 枝豆に大きな塩のついてゐし  
19 秋風のはじめと思ふ風の中  
20 とりどりに草の実ありて皆小さし  
21 秋日和山に大声出してをり  
22 二つ鳴く虫の遠くの方止みて  
23 短日やもの白つぼく青つぼく  
24 冬田道曲がるところの見えてゐて  
25 舞うてゐし落葉はもとの日だまりに  
26 少しずつくべて昼より長焚火  
27 焼藪を割つて煙のやうに湯気  
28 炬燵よりふやけて外に出てゐたり  
29 クリスマスツリーよろよろ運ばれ来  
30 少し出て日向ぼこりをして入る